

## 《事業概要》

### ◎取り組みと実績

#### □平成 29 年度（第 2 期） 事業実績

##### 1 官民連携まちなか活性化ワークショップ運営業務

地域住民や商店街を始めとした関係団体とワークショップを開催し、まちなかを活性化するための方策や事業等を検討し具体策を実施する。

##### (1) 天王通り商店街マップ事業

天王通り商店街は、中央商店会に加入している店舗と加入していない店舗が混在している。天王通り商店街として事業を行うにあたり、店舗紹介が必要であったため 31 店舗の紹介を標記した地図を作成し配布した。

##### (2) 商店街の感謝市事業への支援

・感謝市事業への支援及び共催事業の実施

中央商店会が毎月 15 日に行っている「感謝市」事業に併せて社団も協賛事業を開催した。（こいのぼりぬり絵展、フリーマーケットへの参加等）

##### (3) 天王通り商店街納涼盆踊り事業

・中央商店会・長岡山車保存会・まちづくり伊達の共催事業

恒例であった中央商店街での盆踊りが中断していたので、関係団体と協議し賑わい創出の一つとして 4 年ぶりに実施した。

8 月 12 日（金）18：00～車両交通規制、19：00 から盆踊り（～20：30）

人出は 300 人以上。露店や、飲食関係の協力を得て実施した。

##### (4) 伊達町マルシェ実行委員会との連携（既存事業支援）

・伊達マルシェの支援（9/15 夜マルシェ） 参加者：約 400 人強

事業運営の支援／事務所の活用（イベントのゴール地点とし、抽選会の会場及び休憩所として提供した。）

・伊達マルシェの支援（10/9 昼マルシェ）

小学生・一般の体力測定／手作りマルシェ／飲食コーナー／事業運営の支援／事務所の活用（イベント事業実施場所として提供した。）

※両事業とも市内外から多くの参加者を集め、街中は賑わった。

・イルミネーション事業の共催（12月22日～翌年2月末日）

イルミネーションの魅力を増すことを目的に事務所壁面へのイルミネーションを設置し実行委員会事業の盛り上げを図った。

##### (5) 天王祭実行委員会支援事業

天王祭の伝統を PR するためのパンフレット制作事業を支援した。これは伊達市教育員会発行の「伊達市のむかしむかし」著者すずき大和の「長岡の天王おけ」の昔話をパンフ化した。

##### (6) フリーマーケット開催の準備、運営協力（既存事業支援）

5 月 28 日（日）・11 月 5 日（日）開催・・・伊達町中央商店会主催

フリーマーケットへ天王市として参加し霊山振興公社の「イノシシ皮細工」等の販売やおすそ分け市場として野菜の販売をした。また、事務所をイベント来場者及び関係者の休憩場所として提供した。

(7) 中央商店会初売り事業支援

恒例事業であったが中断していた中央商店会の「初売り事業」を3年ぶりに実施した。年末年始の商店街の賑わいを出すため、商店会会員や商店街に面した事業者と話し合い天王通り商店街の事業として行った。

(8) ひな祭り事業

30年3月2日～3日開催

3月の「ひな祭り」に合わせ、商店街への人出増加を目指し新しく企画した。中央商店会及び商店街の商店に参加を募り13店が参加し、ひな祭り商品を準備し買い物客には桃の花と桜餅を配付した。

(9) 商店会加入店以外の店舗PR事業

伊達町中央商店会は、毎月15日を「感謝市」として、新聞折込みチラシでPRを行っている。しかし、商店会に加入していない天王通り商店街の商店はPRを行っていないことから、中央商店会の厚意によりチラシの裏面に広告記事を掲載する事業を行った。

(10) 天王市（手作りマルシェ）の実施

アクセサリー、手編みのかごや手作りパンを作っている方に参加いただく「天王市」を新たに企画し3月15日（木）に実施した。商店会の感謝市に合わせて、まちづくり伊達の事務所を会場として、8名、2団体が参加した。

(11) 自主収入確保のための事業

- ・各種イベント等において委託販売等を行った。
- ・商店街に市民の足が向くよう近隣家庭菜園での新鮮野菜を販売する「おすそ分け市場」を試みた。
- ・天王祭礼に際し、すずき大和さんの原画を利用した天王Tシャツ及び天王桶を題材としたバッグを制作し販売した。

2 官民連携まちなか再生社会実験事業

まちなかの賑わいを創出するため、公共用地や空き店舗を活用した様々な事業の検討を行い、地域住民が楽しみ、会話し、休憩し回遊できる商店街とするための「場」を社会実験として設置する。

(1) 中心市街地に拠点施設の設置

平成29年5月15日、天王通り商店街の空き店舗を社会実験の場として利用するため賃借し、市民が活用できる拠点としての場を設置した。

① 施設の整備等について

空き店舗を事務所として活用するためトイレの改修や畳替え等の改修を行った。

② 開所時間について

- ・当初、8時30分～17時30分とし、土・日曜日は閉所とした。
- ・7月からは、商店街の開店時間や閉店時間との調整を図り、職員の勤務シフト制で8時30分～19時、土曜日9時～19時、閉所は日曜日とした。
- ・利用状況を見ながら9月から9時15分～18時15分、月曜日から土曜日まで開所、日曜・祝祭日を閉所としている。

③ 多目的に利用できる空間としての取り組み

- ・情報がある所、話がある所を目指し、机、テーブル、ソファ等を設置した。
- ・コーヒーやお茶等も準備し、趣味での利用、休憩での利用、団体のイベント利用など、住民の皆さんが気軽に利用できるような場所づくりを心掛けた。
- ・情報拠点としてフリーワイファイも設置した。
- ・伊達市立図書館からの伊達文庫などの図書や卓球台等も設置した。

(2) まちの駅の認定について

社会実験の効果を一層高めることを目的に「まちの駅」の認定を受け、伊達市の「まちの駅ネットワーク伊達」に加入した。

(3) 公的事業への協力

伊達市の各種の事業等への協力及び伊達市商工会のプレミアム商品券の販売所としてまちなかの利便性を活かして販売協力した。また、伊達市スポーツ振興公社のチャレンジディの受付所となった。

(4) まちなか再生のためのPT事業（プロジェクト事業）

地域住民が楽しみ、会話し、休憩し、回遊できる地域とするために社団内にプロジェクトを組織し検討した。

① 天王通り“カフェ”プロジェクト

市民との交流や来訪者から、ちょっとお茶してお菓子があれば等の要望が多く寄せられたことや若い子育て中のお母さんの方々からも要望が多かったことから、社団の理事やカフェ経験者、建設事業者等によりプロジェクトを結成し、事業化に向けて検討した。

このプロジェクトは、まちなか再生のための基本構想やアクションプラン策定のために結成された「まちづくり会議」に引き継ぎ、講師等の指導を受けながら具体的な場所、運営組織、運営手法等について検討している。

② 「伊達地区に高齢者住宅」の検討会

伊達市からの調査要請を受け、伊達地域での民間主導型高齢者住宅建設の探るため、地域内の建設事業者や不動産事業者、当社団理事等で組織し検討会を4回開催している。まだ結論には至っていないが、高齢社会対応のため、また、空き店舗や空き家解消に向けて伊達らしい高齢者住宅の検討・建設に向けている。

(5) 委託販売事業の実施

商店街で取り扱っていない品物や起業支援の一助、また、市振興公社等の製品等の委託販売をしている。

① 手作りパンの委託販売

天王通り商店街に欲しい店舗として「パン」「カフェ」という意見があり、材料にこだわりをもって、食パンや菓子パン等を製造販売している方と協議し、将来の起業を見据えながら、食パン等を実験的に土曜日等に委託販売している。

② 伊達市農林業振興公社制作のイノシシ革製品の委託販売

伊達市農林業振興公社で制作しているイノシシ革製品「ino DATE」のアクセサリやキーホルダーを委託販売している。

(6) 街・だての発行

「まちの駅 まちづくり伊達」の事業内容を広く市民へ周知するために「街・だて」として情報発信している。方法は、商店街の感謝市チラシの裏面やイベント周知チラシ等活用して発信している。

(7) まちなか再生のための先進地視察

少子高齢社会の中で同じような悩みを持ちながら克服し、まちなかの賑わい創出や地元産品の開発による施設運営している先進地を視察研修した。

① まちなかカフェの視察研修

まちづくり会議の委員を中心に新潟県三条市「ステージえんがわ」や「TREE」を視察研修した。

② 地元産品の開発による施設運営

国道399号沿いの活性化と地元産品の六次化開発に取り組んでいる伊達東地区協議会の地域振興分科会を中心に「農産物の直売所及び休憩施設並びに6次化産業に関する視察研修」について支援した。

視察先は、宮城県大崎市岩出山町「あ・ら・伊達な道の駅」の直売所と6次化産業については、「よっちゃん農場」を研修した。

3 官民連携まちなか再生推進事業

市が策定した「伊達地域 まちづくり基本計画」に基づき、まちなか再生のための基本構想やアクションプランを策定する。

(1) 計画策定をワークビジョンズに委託し実施

計画策定に当たっては、佐賀県でのわいわいコンテナ事業等で市街地活性化事業を多く手掛け、福島県内でも成功事例がある㈱ワークビジョンズに委託し実施した。

懸案であった天王通り周辺と熱田、八雲両神社の歴史的な周辺をエリアで捉え、官民連携で具体化していくこととした。

○まちづくり会議の経過

①キックオフレクチャーの開催…8/25（金）18：30開催

講師：ワークビジョンズ 西村氏 約30名参加

②第1回だてまちづくり会議の開催…9/12（火）

③第2回だてまちづくり会議の開催…10/12（木）

④第3回だてまちづくり会議の開催…11/24（金）

⑤第4回だてまちづくり会議の開催…12/12（火）

⑥第5回だてまちづくり会議の開催…2/6（火）

※伊達まちづくり構想2018（案）の提案と検討

⑦第6回だてまちづくり会議の開催…3/23（金）

※伊達まちづくり構想2018（案）の修正について検討・確認

(2) 伊達まちづくり構想2018の提案

① 旧伊達公民館跡地の活用

伊達公民館は、震災後に解体し空き地となっている。天王通り商店街と歴史的価値もある八雲神社等を含めたエリアでの活用が検討された。

仕事をしながら、お母さんと子どもたちが一緒に過ごせる、ふらっと立ち寄りたくなる、みんなのたまりの場のような場所として仮称「ママのマ」の施設と原

っぱとすることが検討された。

また、県道と当該地を結ぶ空き地についても「ママのマ」と「天王広場」をつなぐパティオの役割を持たせることが検討された。

② 信用金庫伊達支店とイベント広場を含むエリアの活用

熱田・八雲神社、旧福島電鉄の分岐点という歴史的にも賑わったエリアを「天王広場」として位置付け、市民が天王通り周辺を回遊し、市民がわくわくする場所とすることが検討された。

③ 官民連携による事業推進

これらの開発事業、運営事業は、行政に全てに頼ることなく行政や市民、社団が2人3脚で官民連携を色濃く出して進めることが必要となる。

このためには、社団が伊達市から「都市再生推進法人」の認定を受けることが必要なことから、伊達市と更なる協議が必要となる。